

＜対策のポイント＞

スマート技術等の新技術について、農業研究の中核を担う**農研機構を中心に産学官の連携を強化**して開発を進めるため、農研機構の有する知見や研究手法・ノウハウ等を**効果的に活用することが可能となる施設等の整備**を行い、人口減少下においても生産水準が維持できる**生産性の高い食料供給体制の確立**を目指します。

＜事業目標＞

産学官連携の強化による研究開発の推進、我が国の優良な植物新品種の開発と研究成果の早期創出

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 産学官連携機能の強化のための施設の整備
332（－）百万円
【令和5年度補正予算】570百万円

農研機構の有する知見や設備等を産学官が連携して利用するため、**スマート農業技術及び品種開発に関連する施設を整備**します。

2. 研究開発等の基盤となる施設の整備・改修
778（575）百万円

研究開発の**基盤となる施設を整備・改修**するとともに、**新たな研究ニーズに対応するための研究施設を整備**します。

＜事業の流れ＞

